



炭酸水素ナトリウム



日本薬局方

500g

炭酸水素ナトリウム

(重炭酸ナトリウム)

NATRII BICARBONAS

(炭酸水素ナトリウム「司生堂」)

SHISEIDO SEIYAKU CO.,
司生堂製薬株式会社

東京都新宿区下落合 2-12-10
TOKYO・JAPAN

昭和61年11月版
日本標準商品分類番号812344

【組成】

本品は炭酸水素ナトリウム (NaHCO₃ ; 84.01) 99.0%以上を含む。

【効能・効果】

(経口)

下記疾患における制酸作用と症状の改善
胃・十二指腸潰瘍、胃炎(急・慢性胃炎、
薬剤性胃炎を含む)、上部消化管機能異常
(神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃
酸過多症を含む)

アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛
風発作の予防

(含嗽・吸入)

上気道炎の補助療法(粘液溶解)

【用法・用量】

炭酸水素ナトリウムとして、通常成人1日
3～5gを数回に分けて経口投与する。

含嗽、吸入には1回量1～2%液100mlを1日
数回用いる。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【性状】

本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、
おいはなく、特異な塩味がある。

【取扱上の注意】

貯法：気密容器

【使用上の注意】

(経口)

(1)次の患者には投与しないこと
ナトリウム摂取制限を必要とする患者(高
ナトリウム血症、浮腫、妊娠中毒症等)

(2)次の患者には慎重に投与すること

- 1) 重篤な消化管潰瘍のある患者
- 2) 腎障害のある患者
- 3) 心機能障害、肺機能障害のある患者
- 4) 低クロル性アルカローシス等の電解質
失調のある患者

(3)副作用

1) 代謝異常

アルカローシス、ナトリウム蓄積に
よる浮腫等の症状があらわれること
があるので、観察を十分に行い、異
常が認められた場合には、減量又は
休薬等の適切な処置を行うこと。

2) 消化器

ときに胃部膨満、また、まれに胃酸の
反動性分泌等の症状があらわれるこ
とがある。

(4)相互作用

1) 消化管内・体液のpH上昇により、併用
薬剤の吸収・排泄に影響を与えるこ
とがあるので、慎重に投与すること。

2) 大量の牛乳、カルシウム製剤との併用
により milk-alkali syndrome (高カル
シウム血症、高窒素血症、アルカロー
シス等) があらわれることがあるので、
観察を十分に行い、このような症状が
あらわれた場合には投与を中止す
ること。

製造番号